



MS344-30011/2/3

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はTRDサイドスカートをお買い上げいただきありがとうございます。  
 本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。  
 なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

### ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS344-30011-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (062)	クラウン '18.06~ 適合: RS-B, RS, RS-Advance
MS344-30011-A1	プレジヤスホワイトパール (090)	
MS344-30011-C0	ブラック (202)	
MS344-30011-C1	プレジヤスブラックパール (219)	
MS344-30012-NP	プライマー品 (NP)	
MS344-30013	ブラック (BLACK EDITION) (202)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

### ■ 構成部品

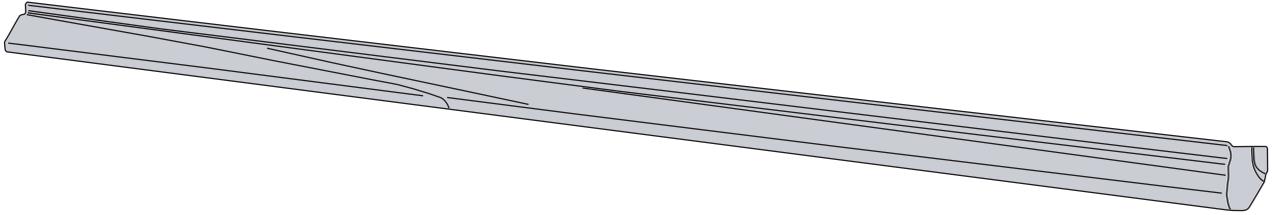
No.	品名	個数	備考
①	サイドスカートRH	1	
②	サイドスカートLH	1	
③	タッピングスクリュー	2	6×20
④	タッピングスクリュー	8	6×16
⑤	タッピングスクリュー	2	5×16
⑥	グロメット	8	M6用
⑦	Jナット	2	M5用
⑧	スペーサー	2	
⑨	クリップ	14	
⑩	PACプライマー	2	N-200
⑪	型紙	1	シール A4
⑫	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
 以下、MS344-30012-NP(未塗装品セット)のみに同梱

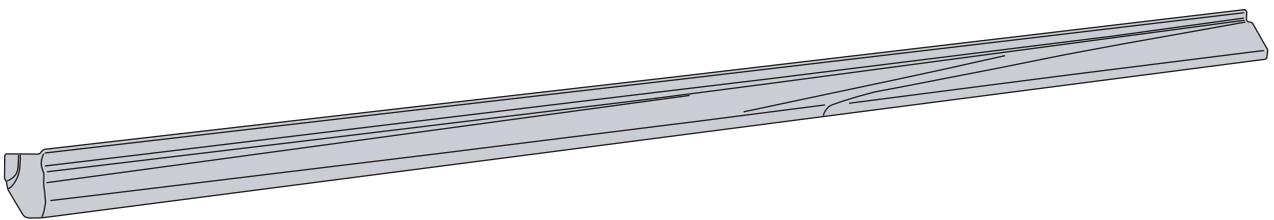
No.	品名	個数	備考
⑬	モール	2	黒 L=2200mm
⑭	クッション	2	L=35mm
⑮	PACプライマー	1	K-500

■ 構成部品図

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬～⑮は未塗装品にのみ同梱

⑬



⑭



⑮



# 取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形が無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

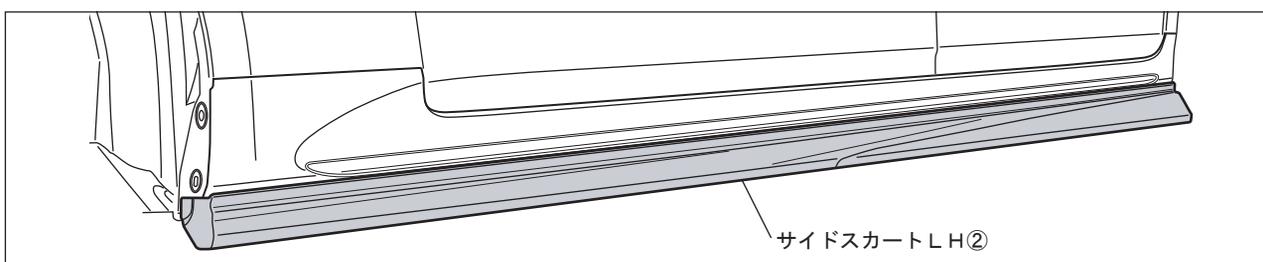
## ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) . . . . . 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 4
4. 取付け要領 . . . . . 4 ~ 11
5. 取付け後の確認・点検 . . . . . 11

## ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具 (ハサミ、カッター等) ・ヤスリ・ドリル・キリ (3.0mm・7.0mm・10mm)
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA) ・清潔なウエス

## ■ 取付構成図

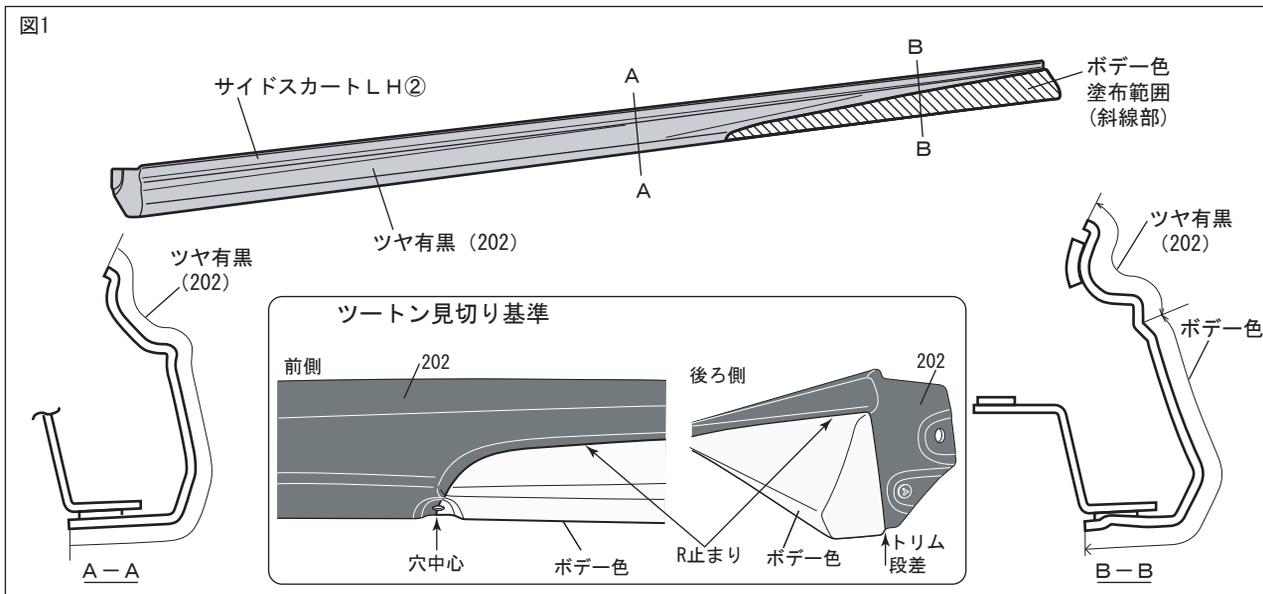


## ■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-30012-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

### □ サイドスカートの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

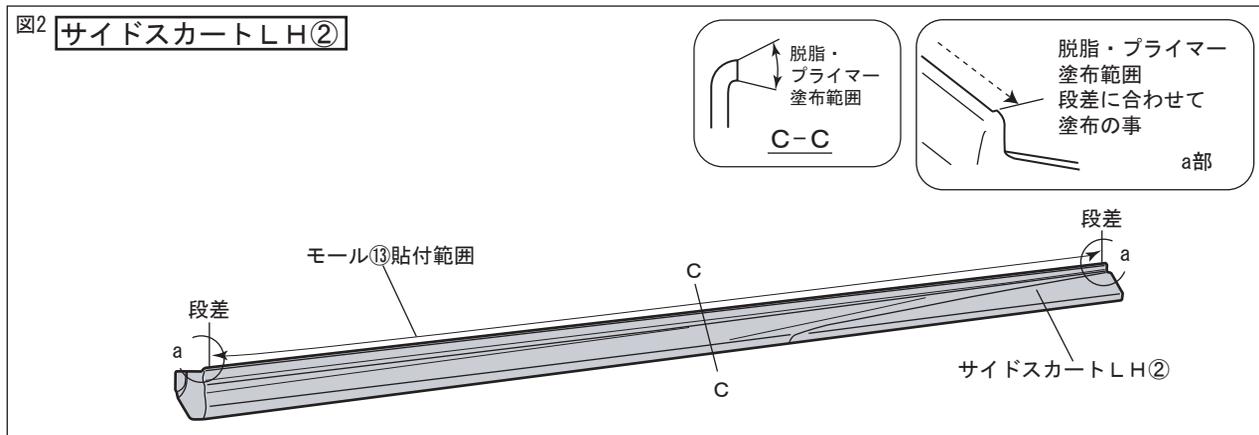


1. 図1のようにサイドスカートLH2をポデー色とツヤ有黒 (202) で塗装する。

- ⚠ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。
- ⚠ 注意：モール貼付面、両面テープ、クッション部には絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。
- ⚠ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

## □モール、クッションの貼付け

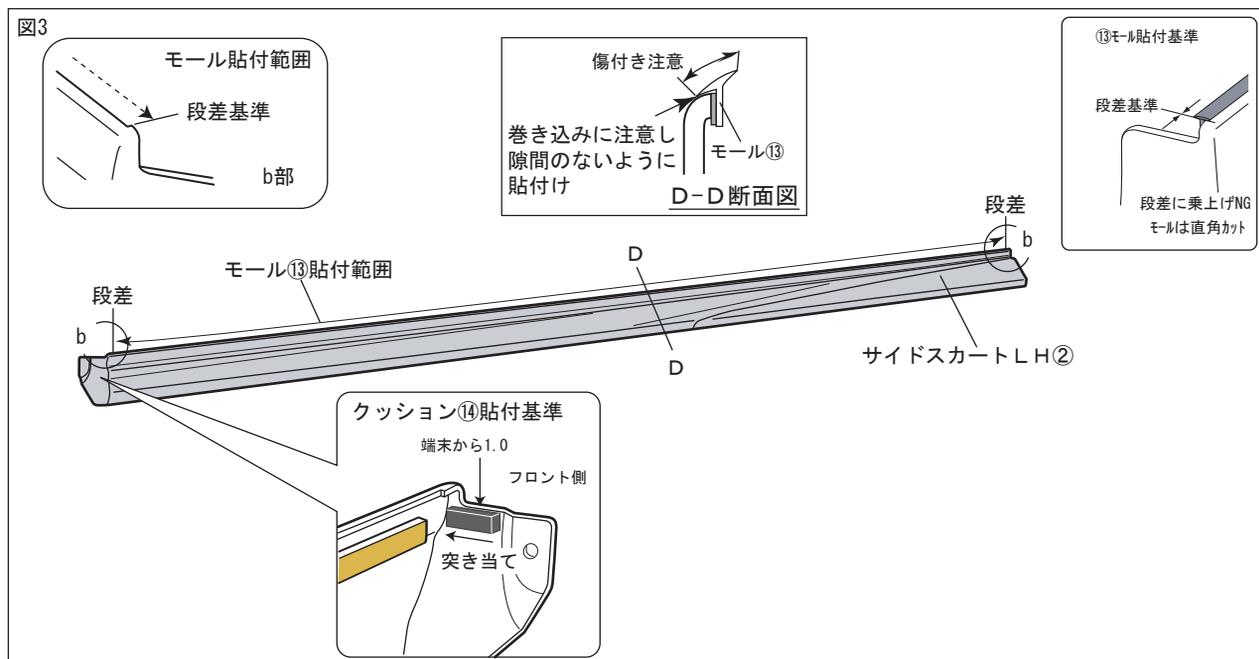
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



- 図2のようにサイドスカートLH②モール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑮を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



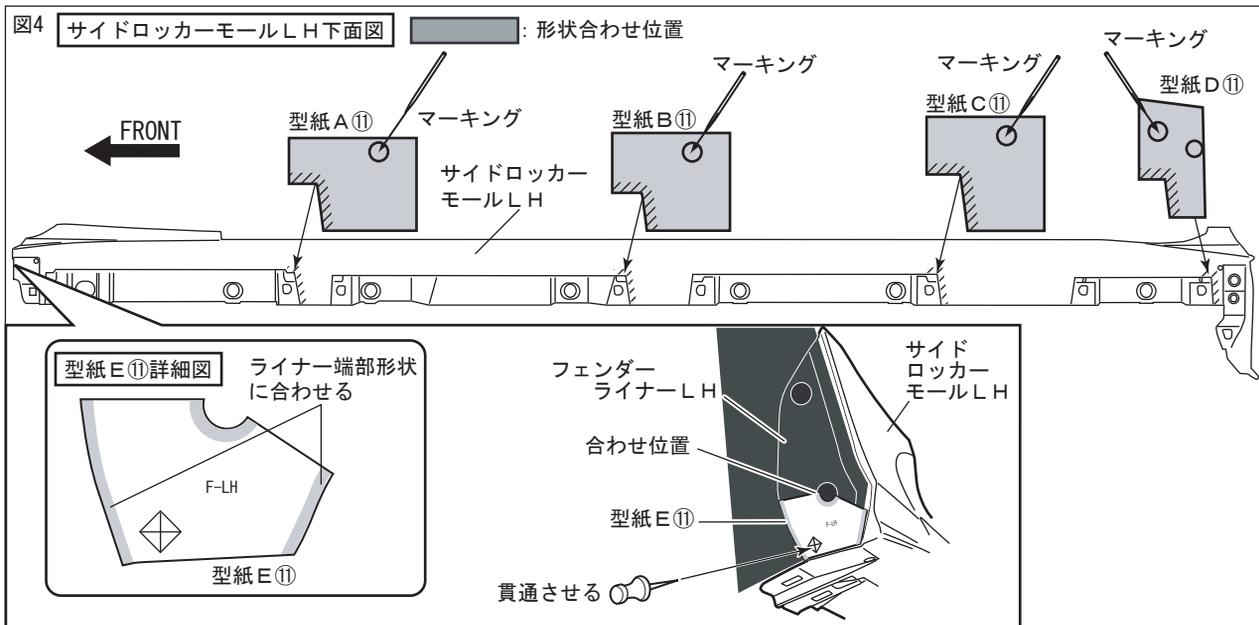
- 図3のようにサイドスカートLH②に、モール⑬の離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。  
[49N (5kgf) 以上]
- 図3のようにサイドスカートLH②のフロント側ホイールハウス部内側に、クッション⑭を貼付け圧着する。

👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びビスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

## □取付準備

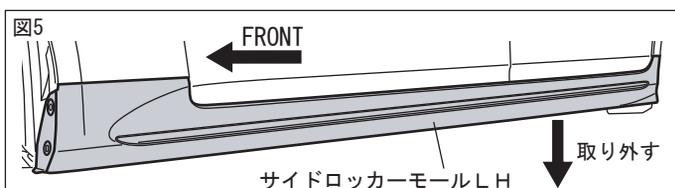
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図4のように型紙①A～Dの斜線部をそれぞれサイドロッカーモールLHの形状に合わせて貼付けしマーキングする。 (左右各5箇所)

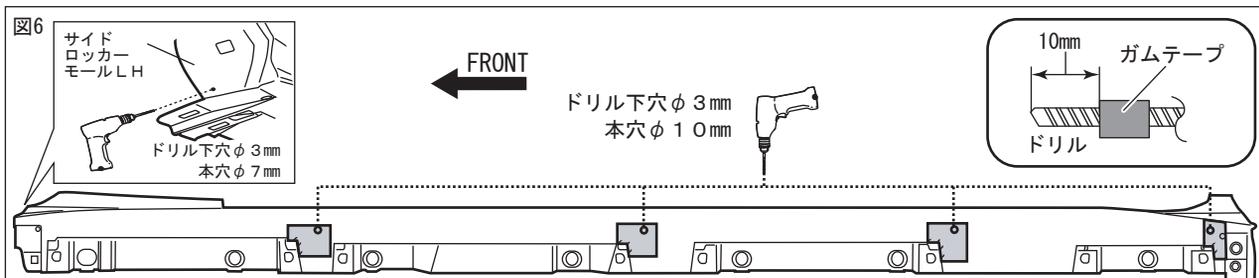
⚠注意：それぞれの型紙の貼付け位置を間違えないようにしてください。

2. 図4のように型紙①Eの斜線部をそれぞれフェンダーライナーLHの形状に合わせて貼付けし、穴あけ位置をキリ等を使用して、フェンダーライナーLHとサイドロッカーモールLHをまとめて貫通させる。 (左右各1箇所)
3. 2. でマーキングしたフェンダーライナーLHのマーキング部に白ペンで目印をつける。 (左右各1箇所)



4. 該当車両の修理書を参考に、サイドロッカーモールLH側を取り外す。

👉アドバイス：取外した車両クリップは廃棄してください。



5. 図6のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルでマーキング位置に下穴をあける。 (左右各5箇所)

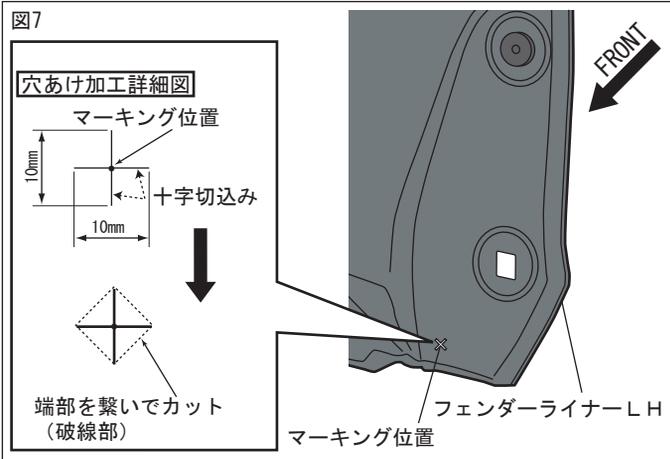
⚠注意：型紙の穴あけ加工時に、サイドロッカーモール内側のクッション等の車両部品を巻き込まないように注意して加工してください。

6. 図6のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。 (左右各5箇所)

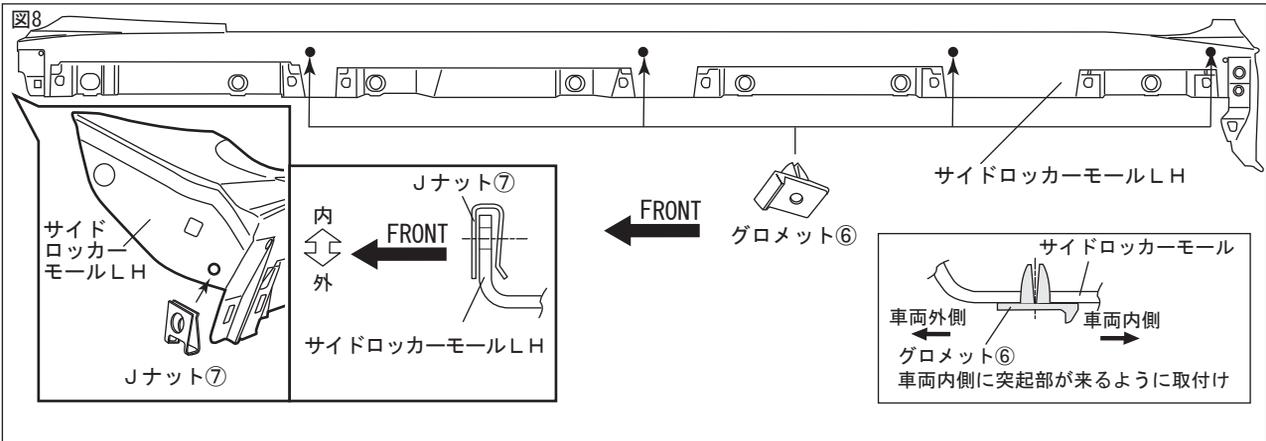
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。また、バリを取除く際は穴径が大きにならないように注意してください。

7. 貼付けした型紙①A～Eを全てはがす。 (左右各5箇所)

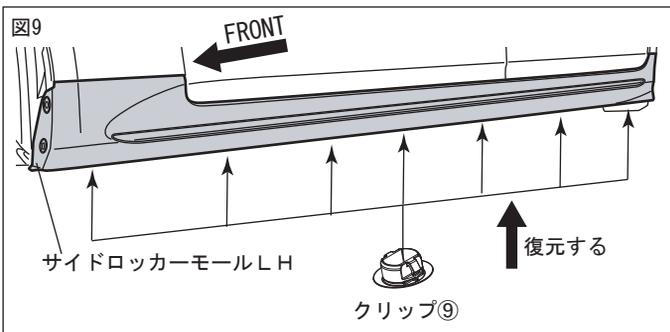


8. 図7のように型紙①EでフェンダーライナーLHにマーキングした穴位置に十字の切込みを入れる。(左右各1箇所)
9. 図7のように十字の切込みを四角になるようカットする。(左右各1箇所)

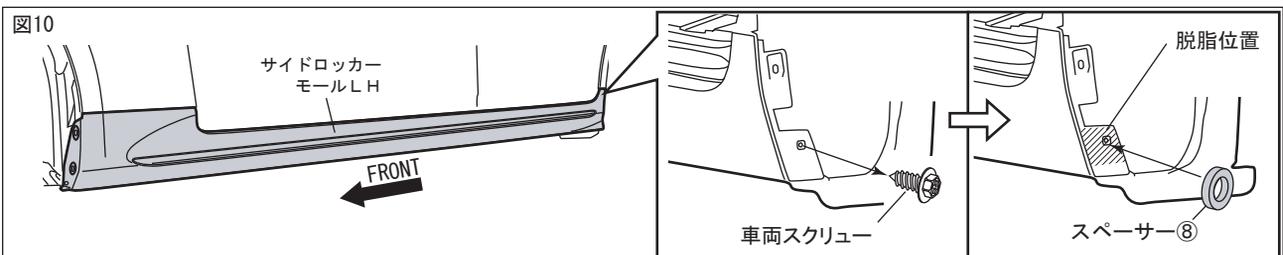


10. 図8のようにサイドロッカーモールLH側面部にJナット⑦を差込む。(左右各1箇所)
11. 図8のようにサイドロッカーモールLH下面部にグロメット⑥を差込む。(左右各4箇所)

⚠注意：図のようにグロメットの差込む向きに注意してください。逆に取付けると、サイドスカートが取付かなくなります。



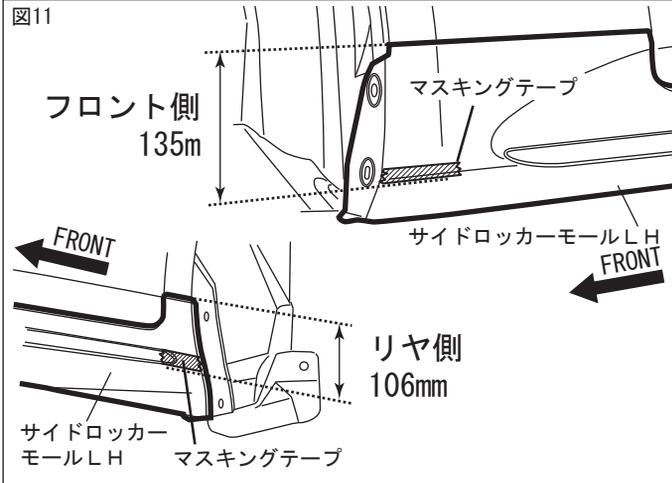
12. 該当車両の修理書を参考に、クリップ⑨を使用してサイドロッカーモールLHとフェンダーライナーLHを復元する。(左右各7箇所)



13. 図10のように車両スクリューを取外す。(左右各1箇所)

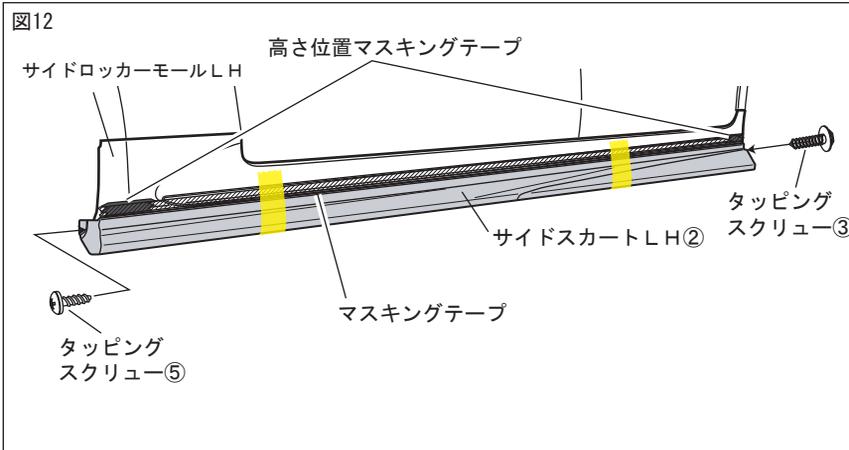
👉アドバイス：取外した車両スクリューは使用しません。

14. 図10のように13. で取外した車両スクリュー部を脱脂してスペーサー⑧を貼り付ける。(左右各1箇所)



□取付要領

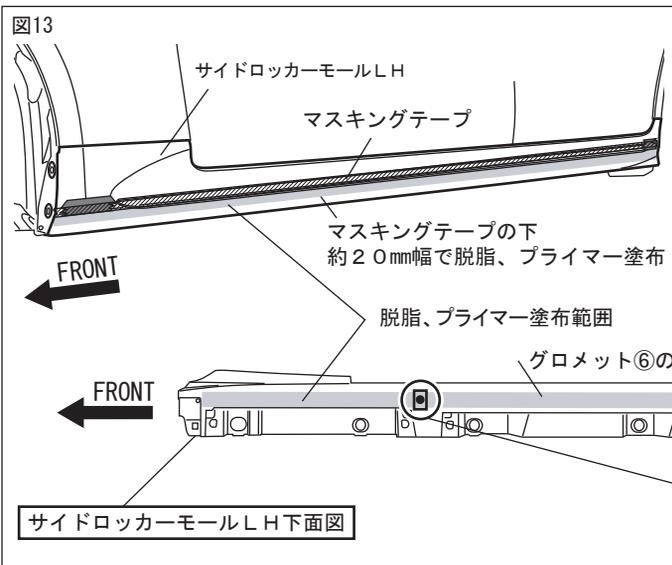
1. 図11のようにサイドロッカーモールド LH の 上端部からフロント側 135mm、リア側 106mm の位置にマスキングテープで取付け高さをマーキングする。(左右各 2箇所)



2. 図12のようにサイドスカート①を 1. で貼付けた高さ位置マスキングテープに合わせ、タッピング スクリュー③、⑤で仮締めし、取付け高さを合わせをガムテープ等で仮固定する。(左右各 2箇所)
3. 図12のようにサイドスカート①の取付け高さに合わせマスキングテープを貼付ける。
4. サイドスカート①を外す。

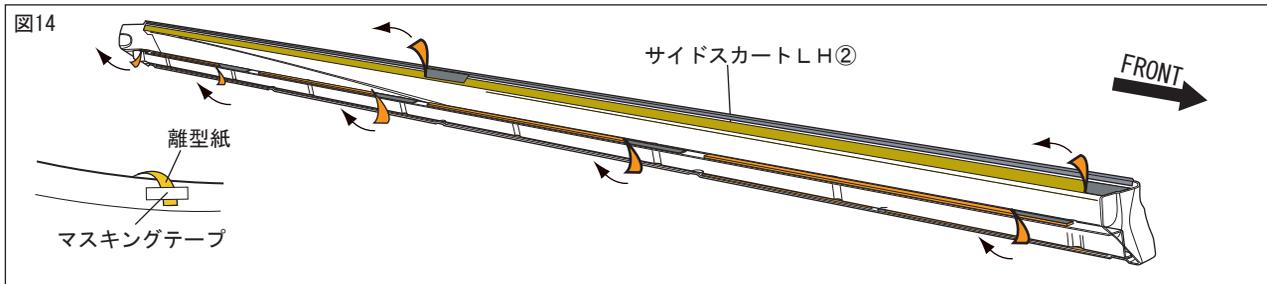
👉アドバイス: 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

👉アドバイス: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



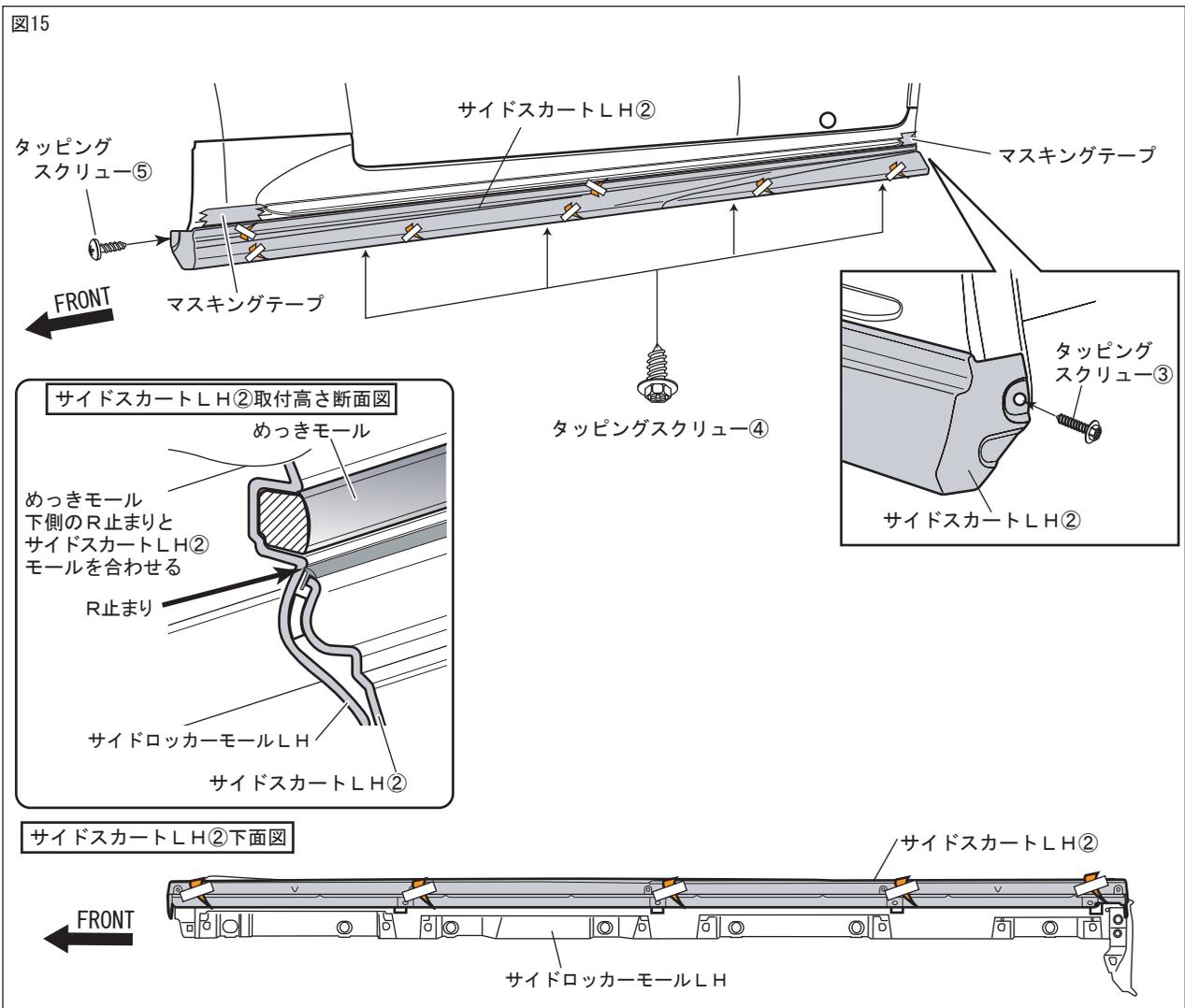
5. 図13のようにサイドスカート①貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで 一方向に拭いて脱脂する。
6. 図13のようにサイドスカート①貼付け部に PACプライマーN200を塗布する。
7. マスキングテープを剥がす。

⚠️注意: 高さ基準のマスキングテープは残します。



8. 図14のようにサイドスカートLH②の離型紙を矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。  
(左右各7箇所)

⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



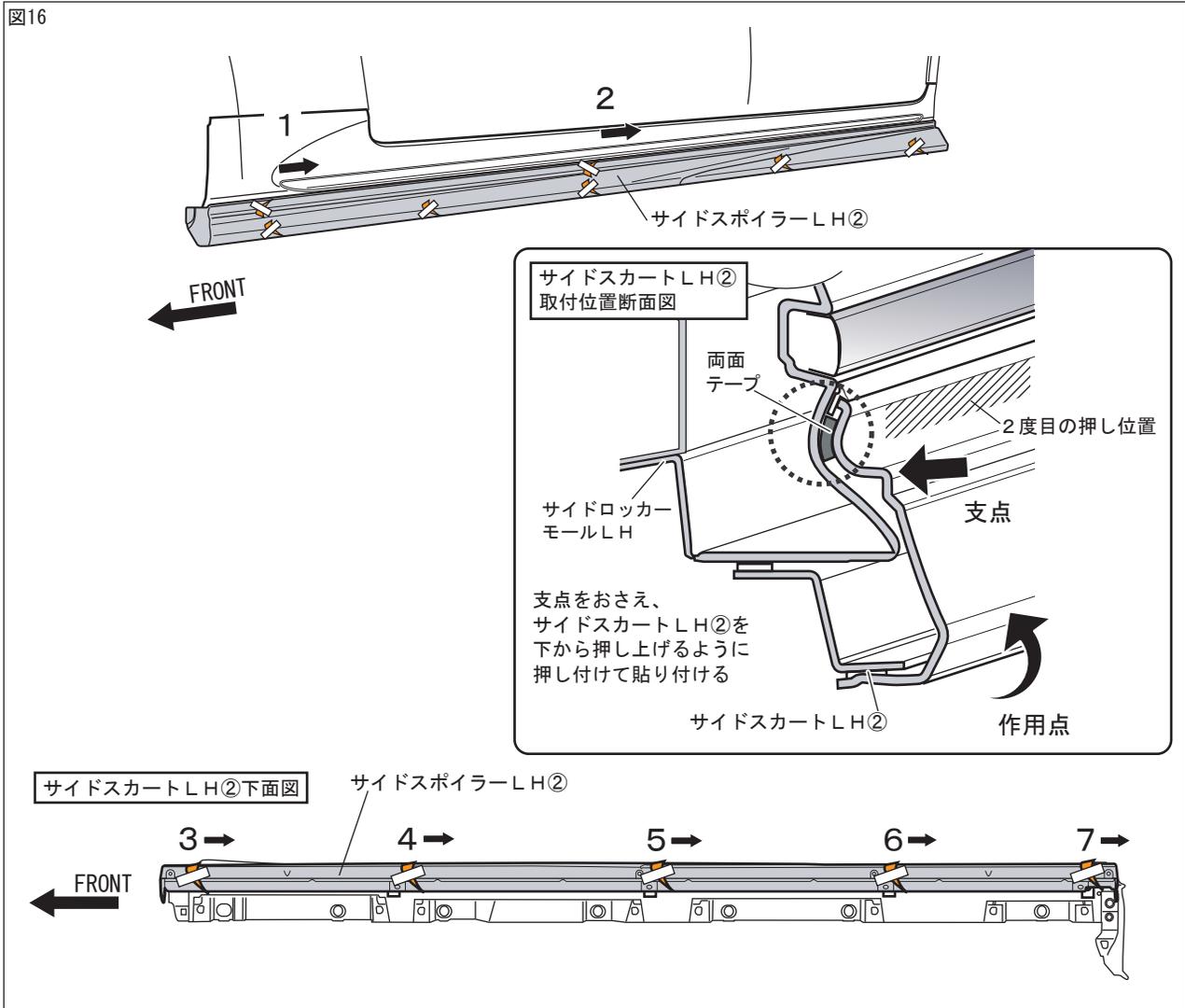
9. 図15のようにサイドスカートLH②をマスキングテープとサイドモールR端部に合わせサイドロッカーモールLHに仮合わせする。

10. 図15のようにサイドスカートLH②をタッピングスクリュー③、④、⑤で仮締めする。

- ・タッピングスクリュー③ (左右各2箇所)
- ・タッピングスクリュー④ (左右各4箇所)
- ・タッピングスクリュー⑤ (左右各2箇所)

⚠注意：図のようにタッピングスクリューの差込み位置に注意してください。位置を間違えるとサイドスカートが取付かなくなります。

図16



11. 図16のようにサイドスカートLH②を高さ位置に合わせ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がし、支点を押しながら貼付け圧着する。  
**{ 49 N ( 5 k g f ) 以上 }**  
 (左右各7箇所)

12. 両面テープの上を再度押しつけて圧着する。  
**{ 49 N ( 5 k g f ) 以上 }**

⚠ 注意：サイドスカートの両面テープは細いため、工程11.12の作業を行い、2度の圧着を確実に行ってください。

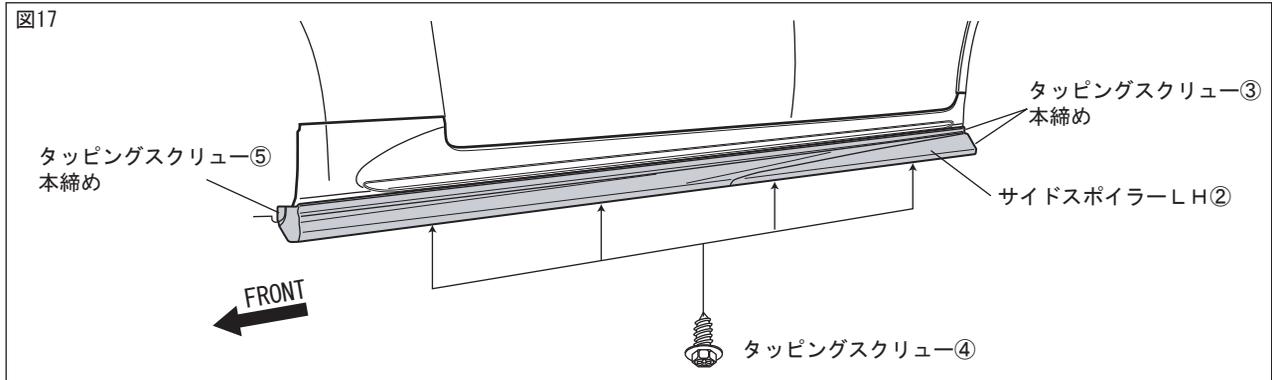
⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



13. 図17のように仮締めしていた車両タッピングとタッピングスクリー③、④、⑤を本締めする。  
(左右各2箇所)

 アドバイス: タッピングスクリーのオーバートルクでの締め付けは、グロメットが破損する恐れがあります。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートがタッピングスクリーにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>